

# 第12回 全国大会

## 日本学校ソーシャルワーク学会 in 兵庫

第2報

日程：2017年8月26日（土）・27日（日）

会場：武庫川女子大学 日下記念マルチメディア館

### 大会テーマ

## 子どもの生活課題にどう向き合うか

～スクールソーシャルワーカーに求められる専門性とは～



第12回大会では、「子どもの生活課題にどう向き合うか～スクールソーシャルワーカーに求められる専門性とは～」というテーマをかかげました。いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動には、その背景に子どもの生きづらさの要因となる生活課題があります。その生活課題に日々向き合い支援しているスクールソーシャルワーカーにとって、どのような専門的な視点、知識、スキルが必要なのかをシンポジウムで取り上げ皆さんと議論したいと思います。特別講演では、ひとり親と子どもたちの生きづらさを長年研究されてきた神原文子先生（神戸学院大学現代社会学部）から、ひとり親家族を貧困問題だけに特化せず包括的に支援する社会モデルのあり方について家族社会学の立場から講演をしていただきます。また、臨床ソーシャルワークの立場でトラウマ理論を長年研究されてきた池埜聡先生（関西学院大学人間福祉学部）から、子どもの生活課題の背景にある逆境的環境によるトラウマ体験とそれに対するスクールソーシャルワーカーの専門的機能について講演していただきます。日々のスクールソーシャルワークの実践をより広い視野と専門的視点で振り返る有意義な時間としたいと思います。

今回の兵庫大会は武庫川女子大学を会場に8月26日と27日の二日間で開催します。明日からの実践と研究の活力となるような大会にしたいと大会実行委員一同意気込んで準備をしています。会場は交通の便の良い場所にありますので、遠方の会員の皆さんもどうぞふるってご参加ください。

第12回全国大会 大会実行委員長  
日本学校ソーシャルワーク学会 理事  
大塚美和子（宝塚市教育委員会）

# 1. 大会プログラム

8月26日(土) 事前研修

詳細な講師紹介を追記  
しましたので参考にして  
ください。

TIME	SUMMARY
9:30	受付開始
9:50	<p><b>【公開研修】</b> <b>「保護者を敵とみなさない</b> <b>～困難な保護者対応トラブルに遭遇した学校に対するSSWの支援～」</b></p> <p>講師：小野田 正利氏 (大阪大学大学院教授)</p> <p>名古屋大学法学部を卒業し、大学院は教育学へ。学校と教職員の“等身大の姿”を明らかにすることをライフワークとしており、現在は「学校と保護者のいい関係づくり」につながるように「学校－保護者間トラブル」「学校近隣トラブル」についての研究に没頭中。近著に『学校は迷惑施設？～近隣トラブル解決の処方箋』時事通信出版社・2017年、『先生の叫び 学校の悲鳴』エイデル研究所・2015年、『それでも親はモンスターじゃない！～保護者との向き合い方は新たなステージへ』学事出版・2015年等がある。また各年度版の『教育小六法』学陽書房刊、の編集者の一人でもある。</p> <p>コーディネーター：佐々木 千里 (京都市教育委員会等 SSW スーパーバイザー)</p> <p>&lt;&lt;受講資格：特になし(非会員参加可) 【受講料】1,000円&gt;&gt;</p> <p>&lt;研修のねらい&gt; 学校では、子ども以上に保護者への対応が大きな問題となることがあります。スクールソーシャルワーカーへも「保護者にどう関わったらいいのかわからない」という学校からの相談が少なくありません。保護者との協力が不可欠な教育現場において、保護者との関係が悪化していくことは、子どもにとって不適切な環境だといえます。そのような状況を前にしたとき、スクールソーシャルワーカーはどのような支援をしていくべきでしょうか。長年、学校と保護者の関係作りについて研究されてきた講師のお話を聞きながら、参加者それぞれの立場で「気づき」を得る機会としたいと思います。</p>
11:50	



9:50

**【専門研修】**

**「学校と福祉の連携について**

**～豊中のコミュニティソーシャルワーカーの実践から～**

講師：勝部麗子氏（豊中市社会福祉協議会福祉推進室長

/厚生労働省生活困窮者自立支援及び生活保護部会委員

1987年（昭和62）年入職以来、ボランティアセンター、小地域福祉ネットワーク活動、当事者組織など、地域組織化や地域福祉活動計画に携わる。2004（平成16）年度より始まった、大阪府地域福祉支援計画のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）設立事業の一期生となる。現在は、CSWとして制度の狭間の課題を解決するプロジェクトの立ち上げ等に取り組んでいる。また、厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の支援の在り方に関する特別部会」に委員として参加。2014（平成26）年4月から放映のNHKドラマ10「サイレントプア」のモデルとなり、同ドラマの監修を務めた。7月には「プロフェッショナル仕事の流儀」に出演した。

コーディネーター：岩金 俊充（やまぐち総合教育センター）

<<受講資格：学会員（非会員参加不可） 【受講料】1,000円>>

<研修のねらい> コミュニティソーシャルワーカーは、社会福祉協議会等に配置され、地域において支援を必要とする人々のサポートを行っており、その活動はテレビドラマでも取り上げられるなど、たいへん注目をあびています。今回は、コミュニティソーシャルワーカーの立場から、学校と福祉の連携、さらにスクールソーシャルワーカーとの連携・協働についてお話しいただき、参加者それぞれの地域での生活課題と多様な立場での支援者との連携・協働のあり方について考える機会にしたいと思います。

制度の狭間の課題に取り組む勝部さんの姿勢やスキル、「ソーシャルワーカー魂」とも呼ぶべき使命感を学ぶ絶好の機会です。是非、ご参加ください。

11:50

**<事前研修申し込みの留意事項>**

- ・申し込み及び口座振込の方法は、すべて後記の「2. 大会案内」の手順に従ってください。
- ・公開研修及び専門研修は、会場の関係がありますので、できるだけ早めのお申し込みをお願いします。
- ・専門研修は会員限定です。まだ余裕がありますので、是非お申し込みください。



## 8月26日(土) 本大会1日目

TIME	SUMMARY
12:30	受付
13:00	開会式
13:10	<b>講演①</b> <b>「子づれシングルと子どもたち～社会的排除から包摂へ～」</b> 講師：神原 文子（神戸学院大学現代社会学部教授） <b>講演②</b> <b>「スクールソーシャルワークの新たな射程            ：エビデンスに基づくトラウマ理解を实践に活かすために」</b> 講師：池埜 聡（関西学院大学人間福祉学部教授）
15:30	<b>シンポジウム</b> <b>「子どもの生活課題にどう向き合うか～SSWに求められる専門性とは～」</b>  シンポジスト：神原 文子（神戸学院大学現代社会学部教授） 池埜 聡（関西学院大学人間福祉学部教授） コーディネーター：佐々木 千里（京都市教育委員会等 SSW スーパーバイザー） 大塚 美和子（宝塚市教育委員会等 SSW スーパーバイザー）
16:50	
17:00	<b>年次総会</b> 会員の皆様は、ふるってご出席ください。
17:30	
	送迎バスにて移動（情報交換会申込者のみ）
18:30	<b>情報交換会</b> （参加者は送迎バスにて移動） 定員：100名（定員になり次第、申込を締め切ります。なお、当日申込はできません。）
20:30	

## 8月27日(日) 本大会2日目

TIME	SUMMARY
9:00	受付開始
9:30	<b>口頭発表</b> <b>研究発表1</b> 座長 山野則子（大阪府立大学教授） 指定討論者（現在調整中）  <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価ワークショップ事例におけるファシリテーターの役割                —効果的なSSW事業プログラムの実施支援に着目して—                発表者：大友秀治（北星学園大学社会福祉学部／大阪府立大学博士後期課程）</li> <li>・子どもの貧困対策における学校-地域協働                —学校プラットフォーム構想におけるパートナーシップの可能性—                発表者：石垣 慧（堺市社会福祉協議会）</li> <li>・子どもの貧困に対する教師の意識 学校教師へのインタビュー調査を通して                発表者：高橋 味央（大阪大学大学院）</li> <li>・子ども・若者の居場所における供食支援について—食事を通じた関わりの意味—                発表者：岡 広美（土庄町教育委員会／香川県教育委員会）</li> </ul>

今回は総括討論の時間を新たに設定しました！

## 研究発表2

座長 大崎広行（目白大学教授） 指定討論者 馬場幸子（東京学芸大学准教授）

- ・大学のハラスメント防止対策におけるソーシャルワーカーの取組み  
～学生の修学権を侵害するアカデミック・ハラスメントに着目して～  
発表者：○中澤 未美子（名古屋大学） 澤田 佳代（日本福祉大学） 吉村 和代（名古屋大学）
- ・不登校経験者のその後の歩みの中の「ゆらぎ」  
—当事者視点から捉える不登校経験の長期的変容プロセス—  
発表者：眞崎 可奈子（池田市教育委員会）
- ・子どもを主体とした学校ソーシャルワーク理論の構築  
～パワー相互作用モデルと子どもアドボカシー研究の統合を目指して～  
発表者：大塚 浮子（熊本学園大学大学院／熊本県スクールソーシャルワーカー）

## 実践発表

座長 金澤ますみ（桃山学院大学准教授） 指定討論者 奥村賢一（福岡県立大学准教授）

- ・カウンセラーとソーシャルワーカーの連携に関する研究  
進路多様校における事例をもとに  
発表者：○柘澤利也（早稲田大学大学院） 上野泰子（埼玉学園大学非常勤講師）
- ・「学校諸費滞納 0 ゼロを目指して」～中学校での取組について～  
発表者：三宅 麻美（京都府教育委員会）
- ・医療福祉系大学におけるソーシャルワーク  
大学生の現状と課題、求められている支援  
発表者：三角 淳子（九州看護福祉大学）
- ・いじめ防止対策推進法におけるソーシャルワーカーの役割と課題  
調査委員会活動から見える社会福祉の視点をめぐって  
発表者：○山本操里（宮城県スクールソーシャルワーカー）  
鈴木庸裕（福島大学）

## 総括討論

全員の発表終了後に座長と指定討論者による総括討論を 30 分程度予定しています。総括討論では、発表全般をふりかえり、今後の研究や実践展開に向けたアドバイスや協議の場にします。

12:30

昼 休 憩  
(昼食は各自ご用意ください)

## 第1分科会「学校ソーシャルワークにおけるコンサルテーション研究の必要性」

- ・「これまでの経過とアンケート調査の結果報告」  
話題提供者：佐々木千里（京都市教育委員会等 SSW スーパーバイザー）
- ・「ソーシャルワークにおけるコンサルテーションの現状と研究の方向性  
一科研費の調査研究を中心に」  
話題提供者：北本佳子（昭和女子大学人間社会学部教授）
- ・「心理職のコンサルテーション～学校心理学の視点から～」  
話題提供者：水野治久（大阪教育大学教育学部教授）
- ・コーディネーター：岩永 靖（九州ルーテル学院大学教授）  
福間 麻紀（北海道医療大学講師）

＜趣旨＞ これまでのコンサルテーションに関わる課題別研究では、学校ソーシャルワーク実践におけるコンサルテーションの重要性やその際に必要とされる知識・意識・認識やスキルについて確認してきた。そして、その中で把握したことは、心理や特別支援教育領域等での先行研究を参考にしながらも、学校ソーシャルワーク実践におけるコンサルテーションの理論研究はまだ緒に就いたばかりであり、未だに個々の SSW r はコンサルテーションにおいて試行錯誤の中にあるということである。今回は、前2回の課題別研究で明らかになってきた事柄を総括したうえで、会場との活発な意見交流の中で、あらためて今後の学校ソーシャルワークにおけるコンサルテーション研究の必要性やそのあり方についての示唆を得る機会にしたい。

## 第2分科会「災害とスクールソーシャルワーク ～その時スクールソーシャルワーカーに求められる役割は何か～」

- ・「熊本地震後の益城町におけるスクールソーシャルワーカーの実践報告」  
話題提供者：尾形昌彦（熊本県教育委員会 SSW）
- ・「発災から生活再建までの生活環境の変化（スクールソーシャルワークの視点から）」  
話題提供者：長谷部治（神戸市兵庫区社会福祉協議会事務局主幹、兵庫区ボランティアセンター長）
- ・「災害時におけるスクールソーシャルワーカーの役割  
～子どもを軸として、学校、教育委員会、家庭、地域に対して～」  
話題提供者：野尻紀恵（日本福祉大学准教授、減災連携・支援機構副機構長、災害ボランティア支援センター長、SSW・スーパーバイザー）
- ・指定討論者：田中尚（岩手県立大学教授）
- ・コーディネーター：比嘉 昌哉（沖縄国際大学教授）  
田中 尚（岩手県立大学教授）

<趣旨> 災害は、子どもに限らずその地域で生活するすべての者に大きな被害・影響を与える。言うまでもなく、われわれはスクールソーシャルワークの視点から子どもの生活支援を中心にした支援を考える。いったん災害が生じると、子ども自身が被災者となる、親など近親者を失う、諸事情で生まれ育った地域から転居するなど、さまざまな困難を抱え生きていかざるを得ない子どもたちの実態がある。その支援者として、スクールソーシャルワーカー(以下、SSWr)はこれまで何をしてきたのか、専門職を含む地域住民とどのように連携してきたのか、また今後防災等の観点から地域でどのような役割を果たさなければいけないのか。本分科会では全国各地で被災者支援に関わる SSWr をはじめとする地域の支援者、研究者等の話題提供者のご報告とともに、その現状と課題に向けてフロア参加者と議論できれば幸いである。

### 第3分科会「チーム支援のための校内体制作り ～スクールソーシャルワーカーのメソ・アプローチ～」

- ・「SSW との協働で生まれた校内支援体制～チーム猪名小の取り組み～」  
話題提供者：中川智子（兵庫県猪名川町立猪名川小学校主幹教諭・生徒指導担当）
- ・「チーム支援体制づくりに向けた教育委員会の取り組み」  
話題提供者：石田 利伸（大阪府教育庁市町村教育室小中学校課生徒指導グループ  
首席指導主事）
- ・「学校のチーム支援を推進する市町村教育委員会と SSW・スーパーバイザーの取り組み」  
話題提供者：西野緑（吹田市教育委員会 SSW・スーパーバイザー）
- ・コーディネーター：大塚 美和子（宝塚市教育委員会等 SSW スーパーバイザー）

<趣旨> 子どもの生活課題に向き合い、子どもや家庭を支援するためには、スクールソーシャルワーカーは校内体制の中で教職員とチームになり、学校としての支援を考える必要があります。そのためには、スクールソーシャルワーカーはコーディネーター役の教職員と協働し、課題を抱える配慮や支援の必要な子どもの情報を集約し、アセスメントを俯瞰して行い、緊急性に応じたプランを考える会議を機能させる必要があります。しかし、校内体制の中にスクールソーシャルワーカーが位置づかないまま、子どもや家庭への個別支援や関係諸機関へのつなぎ役等のマイクロ・アプローチに終始している現状が見受けられます。そこで、本分科会では、スクールソーシャルワーカーのメソ・アプローチに着目し、校内組織の在り方やコーディネーターの役割、スクールソーシャルワーカーの動き方、さらに教育委員会やスクールソーシャルワーカー・スーパーヴァイザーのバック・アップ体制等について検討したいと思います。

16:00

各分科会にて解散

## 2. 大会案内

### 参加区分と費用

		会 員	非 会 員	学生/大学院*
事前研修		1,000 円 (公開・専門どちらも)		
本大会	事前申込	3,000 円	4,000 円	2,000 円
	当日申込	5,000 円	5,000 円	3,000 円
情報交換会		5,500 円 (事前申込のみ)		

\*...社会人学生・院生は除く

### 参加費等支払方法

#### 【ゆうちょ銀行】

名 義 日本学校ソーシャルワーク学会全国大会  
記号・番号 17400-93866021

#### 【他金融機関からの振込を利用する場合】

カ ナ ニホンガッコウソーシャルワークガッカイゼンコクタイカイ  
店 名 七四八 (ナナヨンハチ) 店 (748) 預金種目 普通  
口座番号 9386602

入金内容をお間違えないようご確認の上、お振込みください。**入金をもって事前申込完了**となります。

振込は、入金内容（事前研修費・本大会参加費・情報交換会費）をお間違えないようご確認の上、一括して上記の口座番号へ振り込んでください。

事前申込は**7月31日(月)まで延長**しました！

### 申し込み方法

<事前申込の場合>

#### ① 専用の事前申込フォームに必要事項を書き込み、送信する。

<http://form.os7.biz/f/4ee754e6/> または右の QR コードより専用フォームへ。

**7月31日(月) 24:00 まで**にお申し込みください。

申込直後に送信される【仮受付メール】によって申込内容を確認してください。



#### ② 参加費等を振り込む。

【仮受付メール】受信後、入金内容をお確かめの上、①のお手続き後、**2週間以内**に下記の口座へお振込ください。ただし、7月23日(日)以降に①のお手続きをされた方につきましては、全て**8月4日(金) 15:00 まで**に振込完了いただきますようお願いいたします

#### ③ 【事前申し込み完了メール】を受信する。

大会事務局での事前申込及び振込の確認ができ次第、順次ご登録メールアドレスへ【事前申込完了メール】を送信いたします。必ずご確認ください。

↓

<<事前申込受付完了>>

注1: 振込後2週間経っても【事前申込完了メール】が受け取れない場合は、お手数ですが以下の大会事務局までお問い合わせください。 大会事務局: jsssw2017@yahoo.co.jp

注2: 振込いただいた費用は、いかなる場合も返金いたしかねますのでご了承ください。

注3: 事前申込/振込が確認できない場合には、当日申込の扱いとなりますのでご注意ください。

<当日申込の場合>

受付にて申込手続きをし、上記の該当参加区分の参加費をお支払いください。  
なお、当日申込での情報交換会は参加できませんので、ご了承ください。



#### ④ 情報交換会について

会場は西宮市内の「**木曾路西宮店**」となります。阪神西宮駅から徒歩5分です。大学からお店まで送迎バスを利用します。お食事をしながら全国の仲間との交流をお楽しみください。

なお、情報交換会は、**事前申込のみ**受け付けます。定員になり次第、申込を締め切らせていただきますので、皆様、お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

**情報交換会は定員にまだ余裕があります。  
どうぞふるってご参加ください！**

#### ⑤ 宿泊の手配について

大会事務局での宿泊の手配は行っておりません。各自でご用意いただきますようお願いいたします。なお、周辺の宿泊施設は予約がとりづらい状況になっております。余裕をもってご予約されることをお勧めします。

#### ⑥ 託児について

託児所は設けておりませんので、ご了承ください。

#### ⑦ 駐車場について

原則、大学構内へのお車での乗り入れはご遠慮いただいております。後述の交通アクセスを参照の上、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

## 3. 口頭発表をされる方へ

下記の留意事項を熟読の上、ご準備ください。

### ○ 留意事項

#### 1) 発表時間

○発表時間は発表20分、質疑応答10分の計30分間です。

○タイムキーパーが以下のように時間経過をお知らせします。

発表開始後15分：1鈴 ⇒ 20分：2鈴（発表終了）⇒ 30分：3鈴（質疑応答終了・交替）

#### 2) 全員の発表終了後に座長と指定討論者による総括討論を30分程度予定しています。総括討論では、発表全般をふりかえり、今後の研究や実践展開に向けたアドバイスや協議の場にします。

#### 3) パソコン使用

○発表にパソコンを使用する方は、8月28日（日）9：00～9：20の間に各会場に設置していますパソコンの操作確認及びデスクトップ画面に発表データを保存してください。

#### 4) 配布資料について

○当日、資料の配付が必要な場合は、事前に発表者自身で60部ほど用意するようにしてください。

○大会会場での印刷は一切できませんので予めご了承ください。

#### 5) 発表者の欠席について

○やむおえない事情により発表者が欠席した場合には、発表取り消しとなります。ただし、共同発表者がいる場合には代行することができます。その場合には、必ず事前に大会事務局にご連絡ください。大会当日の場合は、大会受付までご連絡ください。

#### 6) 発表教室について

○大会当日に配布する抄録集にてご確認ください。

# 4. 会場アクセス

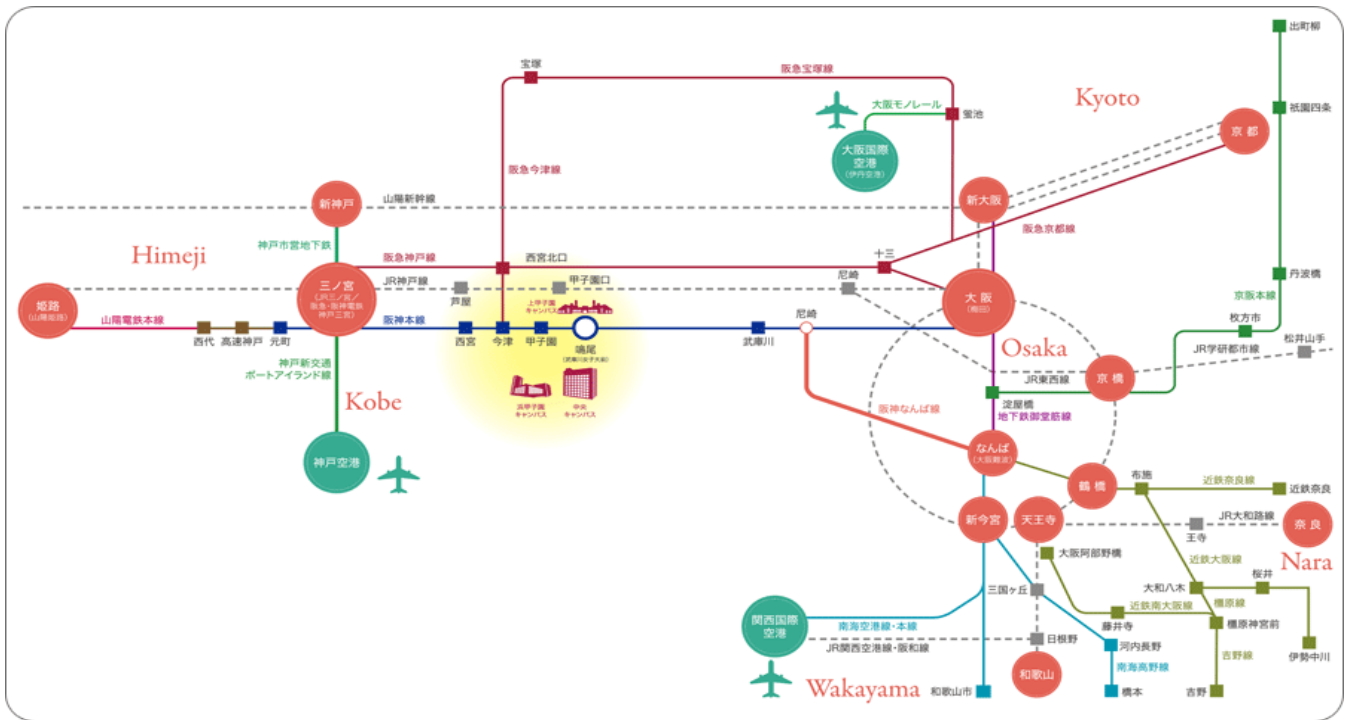
## ▼空路の場合

- 神戸空港から神戸新交通ポートアイランド線で三宮まで18分。(三宮からは阪神電車で以下の画像とおおり)
- 大阪国際空港(伊丹空港)から空港リムジンバスで阪神甲子園駅前まで約30分。阪神電車を利用し、「甲子園」駅から「鳴尾」駅まで1分。

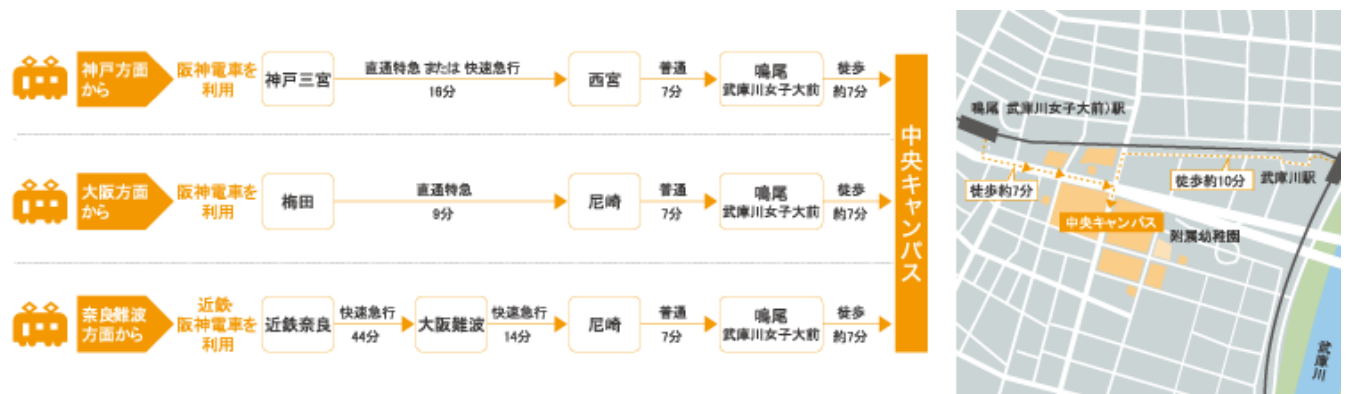
## ▼新幹線の場合

- 新神戸から神戸市営地下鉄西神・山手線で三宮まで2分。(三宮からは阪神電車で以下の画像のとおり)
- 新大阪からJRで大阪(梅田)まで4分。(梅田から阪神電車で以下の画像のとおり)

## ■ 広域アクセス



## 中央キャンパス



## ○鳴尾駅から会場まで

鳴尾駅からは中央キャンパス西門から入って日下記念マルチメディア館へ(鳴尾駅から西門まで徒歩5分)

# <武庫川女子大学中央キャンパス見取り図>

○武庫川女子大学中央キャンパス 住所：西宮市池開町 6-46



大会実行委員会のメンバー一同、会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 大会事務局

ご質問やご不明な点等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

E-mail [jsssw2017@yahoo.co.jp](mailto:jsssw2017@yahoo.co.jp) (担当：大塚美和子)

## 学会事務局

F A X 0947-42-1425

